

平成21年11月30日

四国地域の国立大学における教育研究水準の維持・向上等について（共同声明）

先般の国の行政刷新会議WGによる「事業仕分け」において、科学技術の振興、大学の教育研究にかかる各種経費、事業について「廃止」「予算要求縮減」等の評価結果とされたところですが、運営費交付金の毎年度の削減に引き続いて、これらの経費、事業を廃止、縮減することは、特に本学をはじめとする四国地域の5つの国立大学（いわゆる地方国立大学）にとっては、教育研究水準の低下、教育研究基盤の崩壊、ひいては地域経済の浮揚や県民生活の向上に悪影響をもたらすことが懸念されることから、本日（11月30日）、別添のとおり5大学長連名での共同声明を行ったところです。

1. 共同声明の日時、場所

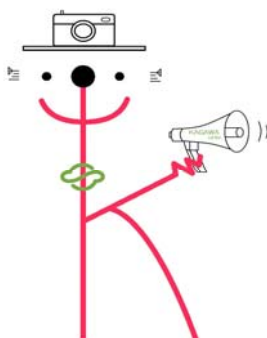
平成21年11月30日（月）13:30～15:30に開催された第55回四国国立大学協議会（愛媛県四国中央市にて開催）において、徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学の各学長が討議の上、別添の共同声明を決定、公表いたしました。

今後、平成22年度予算編成に向けて関係府省等へ提出し、要請等を行っていくこととしております。

2. 共同声明の概要

先般の行政刷新会議WG「事業仕分け」において、科学技術の振興事業、大学の教育研究にかかる各種経費、事業について「廃止」、「予算要求縮減」等が結論づけられたことに対して、四国地域での優れた高等教育機会の確保、教育研究水準の維持・向上、特色ある教育研究の萌芽を育て、振興するために、平成22年度予算における大学に対する公的投資の確保・拡充に向けて下記の点を強く要望すること。

- ①これ以上の大学予算の縮減は四国地域における高等教育機関、四国発の特色ある教育研究、地域の発展の礎を崩壊させること。各国立大学が、先端的、個性的、魅力的な教育研究環境づくりに取り組むことができるよう、教育研究活動及び経営基盤である国立大学法人運営費交付金について、従来の削減方針の撤廃、予算の拡充を図ること。
- ②国立大学法人運営費交付金とならんで、大学の教育研究の柱である競争的資金（科学研究費補助金、グローバルCOE、GP事業等）について（「事業仕分け」では、各種制度の統合・合理化、予算要求の縮減等の評価結果）、制度を柔軟なものとする方向で調整するとともに、関係予算の拡充を図ること。
- ③地域科学技術振興・産学官連携関係事業について（「事業仕分け」では関係事業が全て廃止）、一定期間内に計画を立てて進めている研究、各種事業であることから最低限必要な経費は継続すること。



➤ お問い合わせ先
国立大学法人香川大学
経営管理室総務グループ（広報） 石川・成重
TEL：087-832-1027 FAX：087-832-1115

平成21年11月30日

四国地域の国立大学における教育研究水準の維持・向上等について (共同声明)

徳島大学長	青野 敏博
鳴門教育大学長	高橋 啓
香川大学長	一井 眞比古
愛媛大学長	柳澤 康信
高知大学長	相良 祐輔

四国地域の各国立大学では、世界水準の教育研究活動の推進とともに、地域の特色を活かした教育研究や地域の企業・住民等のニーズに応えるための取組を積極的に行っております。

さて、先般の行政刷新会議WG「事業仕分け」では、科学技術の振興事業、大学の教育研究にかかる各種経費、事業について「廃止」、「予算要求縮減」等が結論づけられております。

各大学では、これまでに国立大学の基盤的経費である運営費交付金の毎年度1%の削減により、教育、研究、診療に多大な影響が及んでいるところですが、今回の「事業仕分け」で俎上にあがった各種経費、事業は、教育研究水準の維持・向上、特色ある教育研究活動の推進及び地域貢献に不可欠なものであり、それらの廃止、縮減等は、特に教育研究基盤が脆弱な四国地域の各国立大学の教育研究水準の低下、教育研究基盤の崩壊をひきおこし、地方における優れた高等教育を受ける機会を失わせることとなります。さらには大学の機能低下による地域への貢献の減退、ひいては地域経済の浮揚や県民生活の向上に悪影響をもたらします。

四国地域での優れた高等教育機会の確保、教育研究水準の維持・向上、特色ある教育研究の萌芽を育て、振興するために、下記のように平成22年度予算における大学に対する公的投資の確保・拡充を強く要望します。

記

①大学予算の縮減は四国地域における高等教育機関、四国発の特色ある教育研究、地域の発展の礎を崩壊させます

四国地域の各国立大学は、優れた高等教育機会の確保、特色ある教育研究推進、地域医療の充実、地域の企業等との共同研究推進など、多様な分野における世界的な教育研究活動とともに地域の発展の礎としての機能を果たすべく腐心してまいりました。

これらの取組の基盤的経費である国立大学法人運営費交付金の毎年度の減額に対して、各大学では経営努力により教育研究経費の削減、人員の効率化を図ってまいりましたが、この削減方針が続く場合には大学の運営基盤が崩れ、各分野にわたる教育研究水準や学生支援の低下をもたらすものと思われまます。これは、地域が期待する力量のある教員、行政・企業・医療現場等で活躍する優秀な人材の育成・確保、地域住民への高度で先進的な医療の提供、地域企業へ

の研究成果の還元等にも大きな影響を与えることとなります。

各国立大学が、先端的、個性的、魅力的な教育研究環境づくりに取り組むことができるよう、教育研究活動及び経営基盤である国立大学法人運営費交付金について、従来の削減方針の撤廃、予算の拡充を強く要望します。

②競争的資金（科学研究費補助金、グローバルCOE、GP事業等）の拡充が必要です

科学研究費補助金、グローバルCOE、GP事業、学術国際交流事業その他競争的資金は、運営費交付金とならんで国立大学が先端的、個性的な取組を進めるための教育研究資源の重要な柱となっています。

先日の「事業仕分け」では、各種制度の統合・合理化、予算要求の縮減等の評価結果とされていますが、この結果は、特に地方国立大学にとっては、

- ・競争的資金獲得競争でのスタートラインからの脱落
- ・特色ある教育研究の推進の停滞
- ・GP経費を活用した先導的かつ当該大学で不可欠な教育改革の取組の衰退
- ・現在進行中の個性的な大学教育・学生支援事業にあっては、今まで構築されてきたシステム、軌道に乗りつつある組織的な取組の継続が困難
- ・若手研究者をはじめとした各研究者の教育研究活動の減退、教育研究環境の魅力の減少による優秀な研究者の確保が困難
- ・大学のみならず地域全体の国際化の停滞
- ・企業との共同研究を行う際にも、基幹となる研究成果が必須であり、仮に国からの競争的資金が大幅に減少されれば、教員の研究のみならず、研究を通じた学生の教育、共同研究、受託研究にも影響を与え、地域への人材供給、成果の還元も困難

をもたらします。

このため、各種競争的資金制度を柔軟なものとする方向での調整にご尽力頂くとともに、関係予算の拡充を要望します。

③地域科学技術振興・産学官連携関係事業の廃止は地域における産学官連携を崩壊させます

「事業仕分け」評価結果では関係事業が全て廃止とされていますが、対象となる「知的クラスター創成事業」、「都市エリア産学官連携促進事業」、「地域イノベーション創出総合支援事業」は大学と県内企業の研究者と共に共同研究を推進し、大学の基礎研究成果を地域へ還元する取組です。地域に立脚する四国の大学として当該事業が廃止されることは、地域との連携のツールを失うことであり、地域経済の活性化に対しても極めて憂慮すべきことと考えております。

また、「産学官連携戦略展開事業」は、地域における産学官連携コーディネータの配置等により、民間での経験と高い識見を持つ者を大学として活用するプログラムですが、これらの事業が中止されることは各地域で整い始めた産学官連携体制を後戻りさせることとなります。

このように一定期間内に計画を立てて進めている研究や各種事業について、人件費に関わる部分など最低限必要な経費は継続いただくよう強く要望します。